

科目名		保安法令			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	有
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		電気の世界はさまざまな法律・省令・技術基準・内線規程などでガチガチに規制されている。この科目では建設業および電気工事業、消防設備関連、そして電気通信に関する法令等を再確認することで、各種国家試験及び2級電気工事施工管理技術検定の対策を行うとともに、将来従事するであろう業務の「しぼり」を学んでいく。			
学習目標 (到達目標)		2級電気工事施工管理技術検定試験に合格する 前期に開講した授業の復習と検定対策となる			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①電気工事施工管理技術テキスト ②ぜんぶ絵で見て覚える第1種電気工事士筆記試験すいーっと合格 (オーム社) および、オリジナル資料			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気に関するさまざまな法律		テキストとノート、PDF資料にて 電気工事の法律と通信・建設にかかわる法律を、要点を抑えて学ぶ		
2	電気事業法および関係政省令		テキストとノートにて 電気工作物の定義を中心に技術基準との関連を理解 (P.601～620)		
3	電気工事士法および関係政省令		テキストとノートにて 電気工事の免状・資格と業務の範囲と、資格取得後の注意事項 (P.625～632)		
4	電気工事業の業務の適正化に関する法律および関係政省令		テキストとノートにて 電気工事業者の定義・登録について・業務・標識・帳簿など (P.633～639)		
5	電気用品安全法		テキストとノート、PDF資料にて 法の適用となる電気用品の種類とマークについて具体例を見ながら理解する (P.621～624)		
6	建設業法		テキストとノート、PDF資料にて 建設業者の定義、届出・登録と許可、請負契約、主任技術者の選任、標識の掲示、帳簿について (P.546～578)		
7	電気通信事業法と有線電気通信法		テキストとノート、PDF資料にて 2級施工管理および工事担任者試験の過去問題を題材にして、強電と弱電の法律的な関係を考察する (P.640～650)		
8	消防法		テキストとノートにて 電気工作物と防火対象物の関係、消防設備の設置と整備と電気工事 (P.670～681)		
9	労働安全衛生法・労働基準法		テキストとノート、PDF資料にて 電気工事にかかる安全管理について、法的根拠と実例から考察する (P.682～763)		
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組み姿勢	小テスト	期末試験		PDF教材はPCでの閲覧、ノートはiPadまたはWindowsパソコンのOneNoteになります。	
0 %	50 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士			